

# 熟と教育

明日への一歩  
民間教育現場の運営責任者を  
応援するスキルアップマガジン

2022  
vol. 119 **11**

Oyen FREE

[juku-kyoiku.com](http://juku-kyoiku.com)



## 「学校授業教科」以外の 「人気講座」

COVER ケイ.イー.シー. 株式会社 (後列) 田中葵、関美貴子、福山鈴音、向山董  
(前列) 保田菜央、永礼子、林優理花、小島安恵、河野真衣

# 関西セミナー 啓明館 株式会社

藤井 徳彦  
代表取締役社長



藤井徳彦 社長

# 高3の100%が第1志望大学に合格 ウイングネットをフル活用し、 大学受験を見据えた小・中・高一貫教育を

コロナ禍の教訓で、  
オンライン指導にも力を入れた

コロナ禍は学習塾業界にも大きな打撃を与え、今後も第8波以降の対策等を考えざるを得ない状況だ。一昨年、昨年とオンライン指導が一気に広がった塾業界だが、関西セミナーも例外ではない。生徒の自宅と教室をつなげ、オンライン指導を行った。

対面指導、特に対面面談を従来から重視している関西セミナーだが、コロナ禍では一気にオンライン指導を行った。早期にそのセッティングを行ってくれたウイングネットにはとても感謝しているという。

「リモートもずいぶん定着し、あるいは抵抗がなくなっているようですから、生徒や保護者のニーズに応えるためにも、ウイングネットの授業を直接生徒が自宅で受けられるようにしてほしい」とウイングネットの本部に依頼しましたら、いい返事をいただくことができました。今後はオンライン指導にも力を入れていきたいと思えます」と藤井社長は述べる。



無理難題と思えるような生徒の  
ニーズにも応え、合格に導く

2022年度の大学入学共通テストは劇的に変わり、その対応はなかなか難しかったと振り返る藤井社長。が、ここ直近2、3年は生徒の100%が第1志望の大学・学部合格するという快挙を成し遂げている。

そのポイントは、「生徒一人ひとりの合格カリキュラムの作成」「個別学習相談&アドバイス」「マイプランノート」等にある。

入塾する際には、まずは面談を行う。現状の学力を模試の結果、学校の評定、検定などを確認しながら行きたい大学・将来の夢、部活の状況などを聞き、じっくりと話し合う。

次に、年間カリキュラムを生徒ごとに作成する。3年間で評定を作りながら受験にも備えていく。カリ

にできているという。「面談は非常に重視していて、特に三者面談を行うことが多いですね。お父さんお母さんがいるからその気になったとしても、肝心の生徒の自覚がなければ意味がありません。ですから耳の痛いこともはっきり言い、甘いことは言いません。しかし頑張ればできる。その頑張る方法はこうなんだと示すこともできます。でも、そのときの強い気持ちもだんだん弱くなっていくので、その頃にまた面談を行い、目標を設定し、勉強するように促します。その繰り返しですね」

ウイングネットをさらに活用し、  
大学受験を見据えた  
小中高一貫教育を

「多くの国公立大学は、大学入学共通テストの受験科目として7科目または8科目を課します。高3の部活終了後からそれだけの科目数の対策を始め、高得点を取るには至難の技です。重要なのは、毎日の勉強を大学受験につなげるように意識し、定期テストには万全の準備で臨んで高得点を取ること。この積み重ねによって難しいと思っていた志望大学合格を実現させることができます」と藤井社長は語る。

## ウイングネット

高校生専用学習室  
生徒一人ひとりに  
専用のデスクがある



2009年に設立された啓明館株式会社は、今年で14年目を迎える。3年前に取材に行き、2019年12月号の本誌に掲載させていただいた。当時は社名も塾名も「啓明館」だったが、今は塾名を「関西セミナー」と変え、今年7月に場所も移転し、生徒がいつそう学習に取り組みやすい空間にリニューアルした。塾名を変えたのは、今までよりさらに大学受験を目指す塾というイメージを地域に浸透させたからだという。

ウイングネットを活用した独自の高校生指導、今後の塾づくりなどについて藤井徳彦社長に話を伺った。

内部生の場合は、高校生になったらウイングネットを全科目を学習し、まずは共通テストありきで国公立を目指すという流れがすでに